

松阪市子ども支援研究センターだより

松阪市子ども支援研究センター 〈TEL. 26-1900 FAX. 26-1901〉
E-mail: kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>
松阪教育支援センター「鈴の森教室」「三雲やまゆり教室」
〈TEL 26-1900 FAX 26-1901〉 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp

「いっぽ」教室の修了式にて

梅雨の合間に降り注ぐ陽の光は、すっかり夏らしい輝きになってきました。早いもので、子どもたちが楽しみにしている夏休みまであと一か月を切りました。

センターに来て2か月あまりがたちました。事務所でデスクワークが行き詰ったときには、センター内の「いっぽ」教室（外国人児童生徒教育のための初期適応支援教室）の子どもたちの姿を見て、その頑張りに背中を押される日々です。

こちらに赴任して初めて「いっぽ」教室の修了式に出席しました。1月に日本に来た3人の子どもたちは、「いっぽ」教室での学びを終え、在籍校で一日を過ごすこととなります。

修了式には、保護者をはじめ在籍学校の校長先生や担任の先生、指導員やボランティア等が参加します。式では、修了証書をいただき、コーディネーターや松阪国際交流協会理事長からお祝いの言葉があり（母語スタッフが翻訳します）、文具や「みえこさんのにほんご」や似顔絵といった記念品をいただきます。そして、今まで一緒に勉強してきた「いっぽ」教室の友だちからもメッセージをもらい、修了生一人ひとりが、この日のために書いた作文を読みます。修了生の作文を紹介します。



修了生の作文

はじめてにほんにきたとき、きれいなくにだとおもいました。いっぽでは、くくをおぼえるのがたいへんでした。でも、がんばってぜんぶおぼえました。いっぽでは、やすみじかにみんなといっしょにあそんだことがたのしかったです。学校では、べんきょうがわからないと、ともだちがおしえてくれます。しょうらいのゆめは、ツアーガイドになることです。そのために、がっこうのべんきょうをがんばりたいです。おとうさん、おかあさん、いっぽのせんせい、ありがとうございました。〇〇学校の先生、これからも、よろしくおねがいします。

作文を一語一語ていねいに読む修了生の姿を見ながら、3人の子どもたちが日本に来てからの4か月を、どんなふうに過ごしたのかを考えていました。初めて来た日本という国で、言葉も食べ物も生活習慣もちがう中、学校生活を送ることは、ほんとうに大変だったと思います。それでも、家庭や学校、地域をはじめとするたくさんの人々の支えと本人の頑張りで、このような作文が書けるまで力をつけたのだと思うと胸が熱くなります。そして大切なのは、「いっぽ」教室修了後の生活であり進路です。学校としっかり連携をとらせていただきながら、ともに取組を進めていきたいと思っています。

いつかこの作文を書いた子どもが夢をかなえ、ツアーガイドになったら、世界中を旅することを心から楽しむことができるツアーを企画してくれることと思います。その姿を想像しながら、修了式の最後の歌『きみとぼくはともだち』を聞いていました。

(大辻 結花)

社会科副読本編集委員会より

○どうぞご活用ください○

みなさん、「わたしたちの松阪市」を知っていますか。「わたしたちの松阪市」は、3・4年生の社会科副読本です。インターネットで「わたしたちの松阪市」と検索していただくと、**図1**のような画面がでてきます。1章から7章まであり、3・4年生の社会科の教科書と連動しています。

社会科副読本編集委員は、地域に取材に出かけ、松阪市の情報をたくさん集め、ホームページを毎年更新しています。子どもたちの興味関心を高めるため、できるだけ、3・4年生の子どもたちが読みやすい文章に直したり、地域の写真や映像資料を載せたりしています。

もし、このホームページを一度もご覧になったことがない方がいらっしゃったら、ぜひ、ご覧ください。小学校3・4年生の学習で使えるワークシートや、他の学年や他の教科のさまざまな学習に活用できるページもありますので、ぜひ、社会科副読本「わたしたちの松阪市」を教材としてご活用いただきますようお願いします。

松阪市トップ > 松阪市子ども支援研究センター > わたしたちの松阪市

図1



(1)しせつ

図2



図2は、松阪市の公共施設の場所の地図です。「1 わたしたちの住んでいるところ」→「市にあるみんなのためのしせつ」とクリックしていくとこのページになります。現在11個の公共施設が載っていて、公共施設の名前をクリックすると、施設の写真や紹介文を見ることができます。社会の学習でぜひ利用してください。

～ 編集委員の紹介 ～ < 敬称略 >

委員長	西村 修久 (大河内小)	技術指導	島崎 良
顧問	松本 吉弘 (旧長谷川治郎兵衛家等三館館長)		
編集委員	勝田 慎也 (第四小)	編集委員	松倉 有佳 (南小)
編集委員	立岡 一宏 (射和小)	編集委員	鈴木 裕也 (松江小)
編集委員	佐々木 誠 (山室山小)	編集委員	花川 和樹 (花岡小)
編集委員	平野 由紀 (中川小)		
事務局	西尾 友加 (子ども支援研究センター)	中谷 優一 (子ども支援研究センター)	